第4部　岐阜県知事賞

○　講　評

　ストレス社会と言われる現代において、感受性が高い中学生だけではなく、その保護者である大人にまで考えさせるメッセージ性の高い作品です。同級生とその保護者にもアンケート調査を行い、怒りを感じた時の自分の行動を振り返らせて、その対処法を示したり、社会問題となっているあおり運転についても考えさせたりしています。質問の構成に筋が通っていて、単純な棒グラフと円グラフとともに諭すようなコメントを位置付けることで、グラフの読み取りを進めていく中で、まさに、タイトルのとおり「怒りと上手に向き合う」ことができるすばらしい作品です。

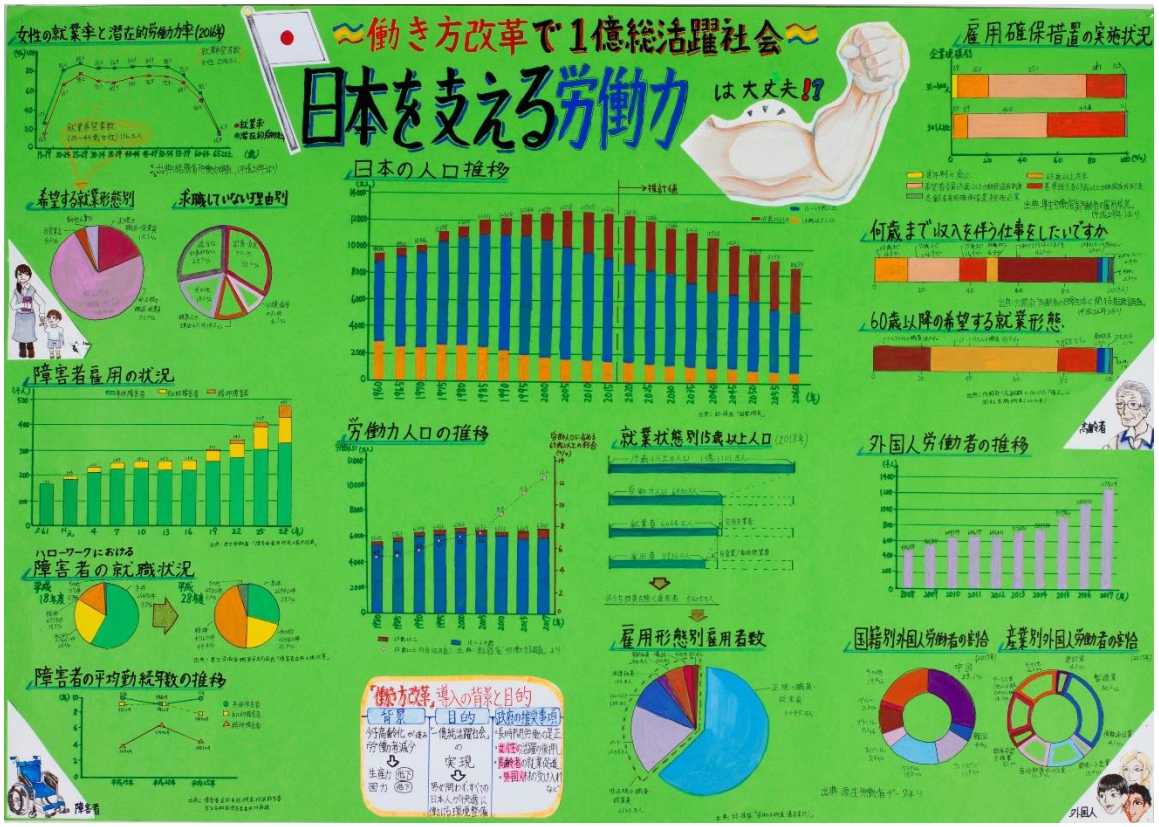
作品名　　アンガーマネジメント　怒りと上手に向き合うために

学　校　　大垣市立東中学校

学　年　　2年

氏　名　　箕浦　日和

第4部　　岐阜新聞社・岐阜放送賞



○　講　評

人口減少とともに少子高齢化が進む日本において、働き方改革が叫ばれる今、どのように労働力を確保して日本を支えていくのかについて考えさせられる作品です。棒グラフと帯グラフ、折れ線グラフを適切に用いて、全体の変化や割合の推移が捉えやすいように表しています。また、１億人が総活躍できるためには決して欠くことができない、女性や障がい者、外国人労働者の就職状況や平均勤続年数、雇用年齢などについても整理しています。まさに、今後の日本の未来を予想することができる作品です。

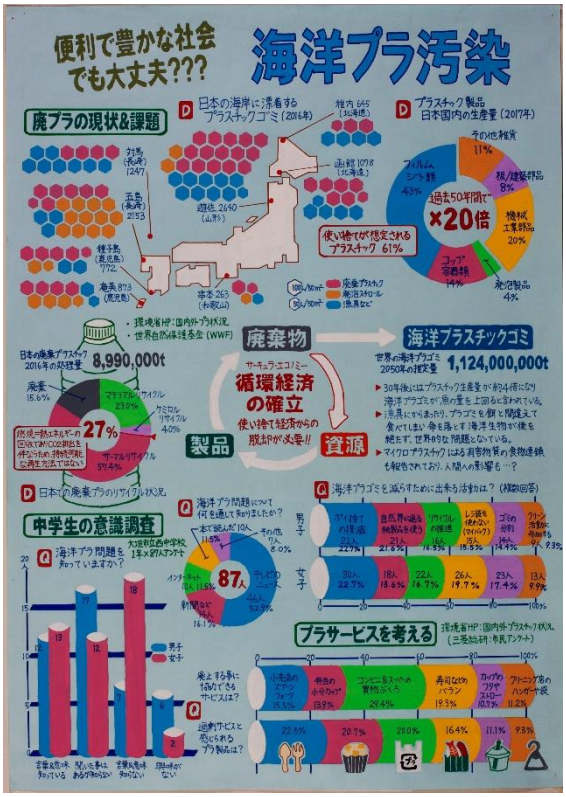
作品名　　働き方改革で1億総活躍社会　日本を支える労働力は大丈夫！？

学　校　　大垣市立西中学校

学　年　　３年

氏　名　　大橋　彩加

第4部　入　選



○　講　評

皮肉にも、便利で豊かな社会が生んだプラスチックごみによる海洋汚染について、世界のうちの一つである日本へ訴えかける作品です。同級生にもアンケート調査を行い、棒グラフや帯グラフを適切に用いて、男女による認識や意識の違いも表しています。イラストを適宜取り入れ、海洋をイメージした青を基調とした色使いでデザイン性が高く、２０５０年を見据えて、今できることについて考えさせられる作品です。

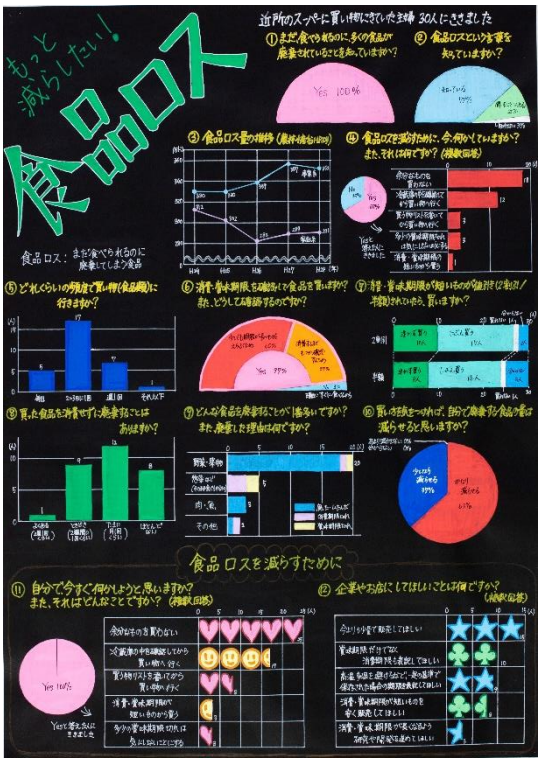
作品名　便利で豊かな社会でも大丈夫？？？　海洋プラ汚染

学　校　大垣市立西中学校

学　年　1年

氏　名　奥田　瑶

第4部　入　選



○　講　評

今、社会問題となっている食品ロスについて、スーパーに買い物に来た主婦を対象に、実際にアンケート調査した結果を基にまとめた作品です。棒グラフや帯グラフなどを用いながら、消費・賞味期限や値引き率の違いによる意識が分かりやすく表されています。主婦の食品ロスに対する認知率や意識の高さだけでなく、自分ができることと企業などができることの両面から、食品ロスを少しでも解消するための策を考えることができる作品です。

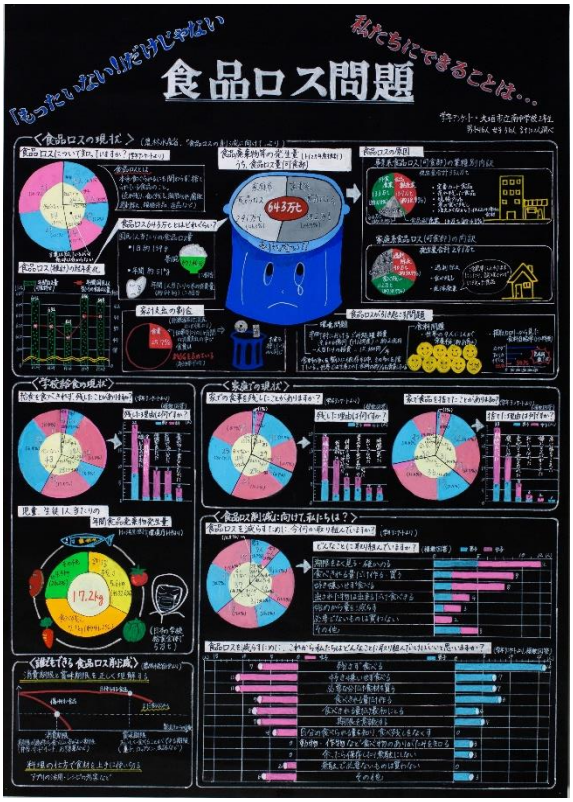
作品名　もっと減らしたい！食品ロス

学　校　大垣市立興文中学校

学　年　2年

氏　名　川瀬　綾乃

第4部　入　選

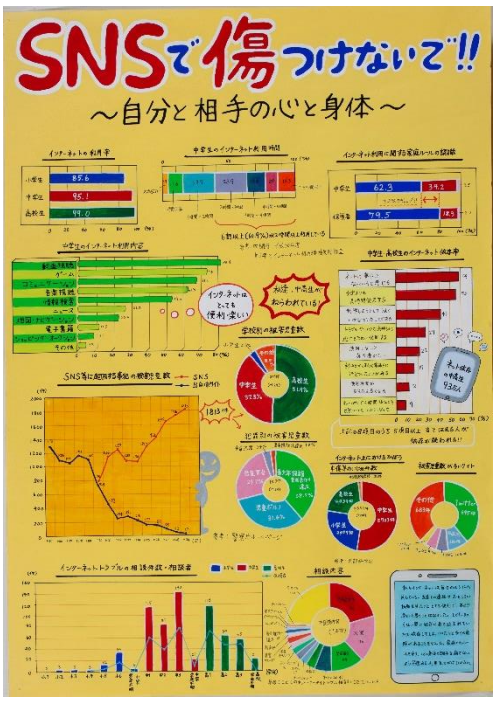


○　講　評

大きく３つの構成で、食品ロスの現状から問題を捉え、学校給食や家庭での振り返りから、自分たちができることについて見つめていく筋が通った作品です。同級生にもアンケート調査を行い、男子と女子の違いを棒グラフや統一した色を使って表し、棒グラフと円グラフを中心にしながら、非常に多くのデータを扱っています。残さず食べるだけでなく、ちょっとした意識のもち方の積み重ねが、今後の解決の大きなヒントとなっている作品です。

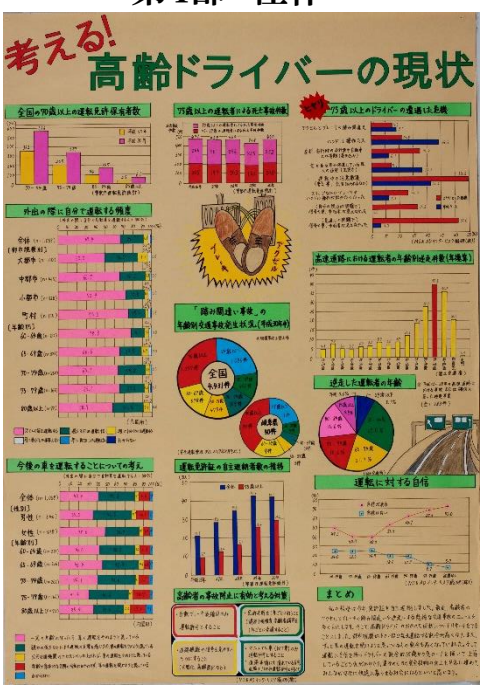
作品名　「もったいない！」だけじゃない　食品ロス問題　私たちにできることは･･･
学　校　大垣市立南中学校
学　年　2年
氏　名　髙橋　彩乃

第4部　佳作



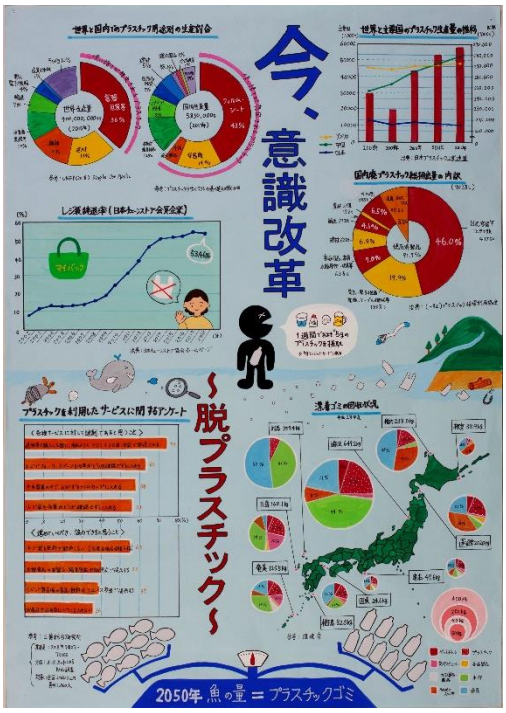
作品名　SNSで傷つけないで‼～自分と相手の心と身体～
学　校　大垣市立西部中学校
学　年　1年
氏　名　山田　遥

第4部　佳作



作品名　考える！高齢ドライバーの現状
学　校　大垣市立星和中学校
学　年　2年
氏　名　青木　美樹

第4部　佳作



作品名　今、意識改革　～脱プラスチック～
学　校　大垣市立西部中学校
学　年　3年
氏　名　山田　悠花

第4部　奨励賞名簿

入賞区分	部門	作　品　名	学校名	学年	氏　名
奨励賞	第４部	喜怒哀楽な初部活	大垣市立北中学校	中1	山本　合実
奨励賞	第４部	父や祖父がよく言う「昔は今ほど暑くなかった」は本当か？	大垣市立赤坂中学校	中1	七種　陽奈子
奨励賞	第４部	見逃さない児童虐待	大垣市立星和中学校	中1	竹中　結彩
奨励賞	第４部	大空に羽ばたけ夢の扉	大垣市立江並中学校	中2	木村　涼翔
奨励賞	第４部	あなたの意思はＹＥＳ？ＮＯ？	大垣市立南中学校	中3	岡田　桃奈